

祝卒業



打瀬中学校の増設案発表 住民説明会は 4/11 H7 街区はどうなる

しばらく動きのなかった H7 街区開発計画と打瀬中学校の教育環境の問題だが、3月になって千葉県企業庁と千葉市教育委員会からこの問題についての説明会を 4月11日に開催したいという連絡が「中学校問題とベイタウンの土地利用を考える会」（自治会連合会下部組織）に入った。

中学校の増設で「すし詰め」と言われる打瀬中の現状は改善されるのか、第二中学建設がなくなるとその予定地であった H7 街区はどうなるのか。この記事では当日市教委より発表される予定の打瀬中学校の増設計画案をお知らせし、この問題の今後について考える。

【松村】

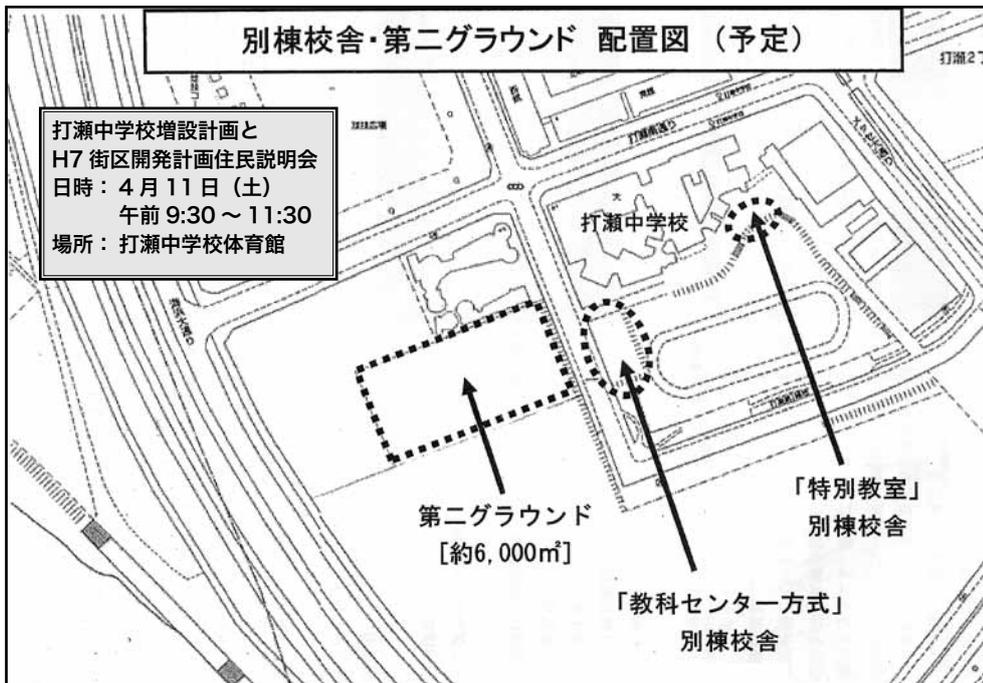
今回の増築案では新しく「教科センター方式」と「特別教室」をそれぞれ別棟校舎として建設し、第二グラウンドを隣接地に整備することになっている。つまり現状では教科センター方式の維持は難しいと考え、新たにホームベースなどの施設を別棟で整備する考えだ。現在の校舎とは「渡り廊下」のようなアクセス路でつながることになる。

また、不足していた実習用の金工室と被服室を教科センター方式別棟とは別にもう一棟建設する。さらに部活などで満杯となっていたグラウンドを現校舎と隣接する土地に建設するとしている。これらの施設はいずれもプレハブ式の臨時校舎ではなく、本校舎として整備するもので、厳しい財政事情の中での計画としてこの点は評価できる。

難を言えば、これらの施設は現校舎に別棟施設をつけ足したもので、これは中規模校として建設された打瀬中学校を大規模校に拡張したため、教室があちこち離れて存在し、第二グラウンドとは道路で切り離される。これで教科センター方式の維持は可能なのか。今回の説明会ではこの点についても見通しが欲しい。

この問題の発端は当初計画では第二中学校建設予定地であった場所が十分な説明のないまま H7 街区という住宅地に変更されたことである。昨年 8 月に行われた住民説明会で県企業庁は「今後住民の同意を経ずに H7 街区の開発は進めない」と明言しているが、今回の説明会では H7 街区の開発についての進展はない模様だ。しかし千葉市教育委員会からは打瀬中学校の増設計画が説明されることになっている。つまりは H7 街区に中学校をという住民の声は無視された形だ。なぜ第二中ではなく増設なのか。そのことについて市教委は十分な説明をするべきであろう。ベイタウンの住民はいつまでもない物をねだるエゴイスト集団ではない。理を持って話せば分かる市民である。説明に十分な合理性があればそれを受け入れる理性はある。

この問題は今後どうなるだろう。今回の説明を受け、住民の代表窓口となってきた「考える会」は、まず市教委に対し今回の増設案は一方向的に住民に伝達されるものでなく、行政から住民に対し出された「提案」であることを確認し、会議の席ではそのことを双方で



	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 21 年度
「教科センター方式」別棟校舎	設計	建設	供用	○
「特別教室」別棟校舎	設計・建設	供用	○	○
第二グラウンド	設計・工事	供用	○	○



第二グラウンド予定地。現在の中学校用地には隣接するが、道路で分断される。



「特別教室」別棟校舎予定地。奥に見えるアリーナ前に建設され、現校舎とは通路でつながれる。



「教科センター方式」別棟校舎が建設される場所。現在は駐車場



合意してもらいたい。その上で考える会は別に住民の意見を聞く場を設け、住民の意見の集約をはかるべきである。市教委はその結果を待ち、改善すべき点があれば改善し、住民が安心して子ども達を通わせることができる打瀬中学校を作ってほしい。

増設計画が出され、それを認めることは H7 街区を含め第二中学校がベイタウンに建設されないことに同意することになる。しかしこれで H7 街区の問題が解決する訳ではない。本来公共施設が建つ予定であった場所に十分な説明のないままマンションが建設されることになったことが問題であり、この点に

ついて行政と住民は信頼関係を取り戻すための努力をしなければならない。

今後ベイタウンでは高齢者の増加は必須だ。幕張ベイタウンが欧州の街並をモデルとしたというなら、今後は福祉面でも成熟した北欧の街をモデルに高齢者にとっても住みやすい街であることを目指すべきである。ベイタウンにはかつてベイタウン・コアを行政と住民双方の協力で実現した例がある。街としてのベイタウンの生活ニーズの変化を考え、住民と行政で H7 街区をどう開発するか改めて対話する場を設けてはどうだろうか。

松本和子さん

配役表を見ておどろいた。11月公演予定のオペラ「コジ・ファン・トゥッテ」(モーツァルト)。主役の中丸三千繪さんの相手役である次女「ドラベッラ」の欄に自分の名が書かれていたのだ。

このオペラは母校である桐朋音大が主催するので、大先輩である中丸さんが出演することは聞いていた。しかし中丸さんと言えば現在日本を代表するプリマドンナ。いつかはと願う気はあっても、まだ先のことだと思っていた。こんなに早く実現するとは。

松本さんが歌うことに目覚めたのは中学生の頃。帰国子女だったという彼女が入学した中学で、友達に誘われるまま合唱部に入ったのがきっかけだった。「意外に遅かったんですね」というのは声楽を知らない素人記者の質問だ。声楽は人間の身体を楽器にした音楽。しかしその大切な楽器である人間の身体は10代ではまだ発展途上だそうで、20歳になっても自分の声は安定しないという。合唱を始めたばかりの彼女はよく分からないままアルトを歌っていたという。

だが、ここで彼女は声楽という新しい音楽の表現方法にのめり込むことになる。同じ学校の高等学校部を卒業する頃には声楽家とし

て歩むことを決意していた。

フランス語やフランス歌曲に興味を持ったのもこの頃だ。当時合唱の指導をうけていた恩師の影響だと言う。いつかはパリの国立音楽院へ。そんな夢を持った彼女が通う高校の隣には音楽の名門、桐朋音楽大学があった。

桐朋音大卒業後、彼女は更に上を目指して東京芸大の大学院で声楽を学ぶことになる。そして在学中の2005年、民間財団の助成をうけ、あこがれのパリ国立音楽院に2年間の留学を果たす。大学院は2年間休学することになるが、パリ国立音楽院への留学は十分な成果があったようだ。留学中の2006年、第75回日本音楽コンクールの声楽部門で2位を受賞し、今度は文化庁の支援をうけて更にもう1年同じパリのエコールノルマル音楽院に留学する。

そして今年、合計3年間の留学を終えて帰国。高校時代から住むベイタウンを拠点に、いよいよプロ歌手として活動を始める。

そんな松本さんにインタビューができたのは2月中旬のこと。3月に卒業予定の東京芸大博士課程卒業論文を執筆中の忙しいなか時間をとっていただいた。オペラの舞台では奔放な貴婦人だったり、貞淑な小間使いを演じ分ける松本さんが、素顔は意外に(失礼!)

生真面目で、控えめな女性という印象だった。これだけの経歴をもっていながら、少しもそれを自慢することもない。おかげで門外漢の記者はその価値が分からず、家に帰ってインターネットで調べ、あらためて驚くことが何度もあった。

そんな未来のプリマドンナの松本さんがプロデビューの場を選んだのはベイタウン・コア音楽ホール。実はコア音楽ホール側では一昨年の秋から松本さんには出演の依頼をしていた。

コアの関係者が彼女を知ったのはたまたま聴いた千葉市文化ホールでの「若い芽のαコンサート」。多くの出演者が緊張からか実力を十分に出し切れないなかで、ひときわ安定感があり、存在感を見せるソプラノ歌手がいた。美浜区在住とあったので調べてみると、なんと我が街ベイタウンに住んでいるという。

ベイタウンにこんなソプラノ歌手がいるなら、是非コアでコンサートをというお願いをしたが、文化庁のプログラムで留学をしていた彼女は日本での活動ができないことになっており、1年間待った末に実現したコアでのリサイタルとなった。

松本和子さんのリサイタルは5月10日(日)。午後2:00からベイタウン・コア音楽ホールで開かれる。

【松村】

4月のコア・イベント

4/18
(土)

わくわくおはなし会 4月の常設おはなし会

時間: 10:30~

場所: ベイタウン・コア 講習室 (途中入場もできます)

4月のおはなし会は、新学期スペシャル!

春から「おはなし」始めませんか?

新しい生活の始まりにぴったりな、わくわくするおはなしを用意して待っています。

年齢制限はありませんので、大人も子ども、だれでも歓迎!

もちろん、読み手はいつでも募集中。ぜひきてくださいね。

連絡先 井上 211-0188 wak2@yahoooogroups.jp

4/25
(土)

寺子屋工作ランド

「ベンハムのコマ」 回すとふしぎな色に見えるコマ

時間: 9:30~

場所: ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの: ハサミ、木工ボンド、

参加費: 50円 (保険料)

4/26
(日)

第72回ファツィオリの会

時間: 9:30~11:30

場所: ベイタウン・コア 音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」でのピアノ演奏、また他の楽器、歌やアンサンブルの演奏にもご利用いただけます。ご希望で非公開にもできます。申込みはいっぱいになり次第締め切らせて頂きます。最新のプログラム内容は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申し込み締め切り: 4月19日(日)

連絡先: TEL/FAX276-1428 (下口)

子育て支援学級 (青少年育成委員会主催)

グループになって日頃子どもと向き合っていること、工夫、知りたいことなどを分かち合う場です。

当日は男の方、子育てを一段落された方どなたでも自由に参加できます。

日時: 5月28日(木) 10:00~12:00

場所: コア 講習室

松本和子ソプラノリサイタル

日時: 5月10日(日) 午後1:30開場 2:00開演

場所: 幕張ベイタウン・コア 音楽ホール

ピアノ: 白田圭介

入場料: 大人1,500円、子ども1,000円(中学生以下)

チケット販売: きらら(CPW)、ジャイネパール(5番街)、ギャラリーキキ(17番街)

お問い合わせ:

大垣(Tel: 276-3878 E-mail: ymogaki@k4.dion.ne.jp)

松村(Tel: 211-6853 E-mail: mazmbtn@yahoo.co.jp)



第12回ベイタウンまつり出店募集

ベイタウンのみなさん、今年もベイタウンまつりの季節がやってきました。今年も精一杯のパワーで、おまつりができる環境を提供しますので一緒におまつりをつくっていきましょう。出店希望の方は、ベイタウン自治会連合会ホームページ (<http://baytown.ne.jp>) の受付フォームに必要事項を記入してお申し込みください。* fax での受付は中止します。

開催日：2009年5月16日(土) 雨天時翌日開催

*** フリーマーケット——ベイタウン住民・小学生だけの参加も可能。**

◎ **150区画 出展区画230→320cm ボラード1・5マスにします。**

* 応募者みなさんの希望に添えないこととなりますが、事故のないことを第一に考えています

<受付期間：4月5日(日)7時から～6日(水)の2日間(氏名フルネーム・住所を書いて下さい)>

* メールのない方は氏名・住所・電話番号を書いて、Pt10-520 小畑へポストイングして下さい。

◎ **4月11日(土) コア・ホールで 13:30～抽選会を行ないます。**

* 1区画1名で申し込みをして下さい。 **2名連記は受け付けない。**

* 自治会連合会HPに**申込み者店舗名と受付番号**を掲示します。

* 昨年は200余の応募がありました。コア・ホールに、みなさんが集まるのは出来ませんので

下記、時間を区切って当・落と場所の抽選をします。

<① 13:30～14:00 ② 14:00～14:30 ③ 14:30～15:00 ④ 15:00～>

* **出店料 500円** 4月11日(土)場所抽選した後に徴収します

*** 模擬店(30店舗)——ベイタウン住民のみ出店できます。**

出店グループ名・代表者・出店内容・<テント・食品>を記載して下さい。

* バレンタイン通り6番街・5番街前・11番街・・・コア前までと**コア南側広場**

* 電源は各自で用意下さい・・・公民館の電源はイベントで使用します。

説明会・場所の抽選 4月18(土) 15:00 コア講習室 出店料 2,000円

* **缶ビールの出店も可**、食品出店者は衛生検査を済まして下さい。

ベイタウンまつり・野外ステージに出演しませんか。実行委員会・野外イベント部会では。出演者(個人・グループ)を募集します。原則としてベイタウン住民(グループでは住民を含む)に限らせていただきます。無報酬です、参加料はいただきません。音響機器(特殊なものは除く)は用意します。場所はコア横空地、日時は5月16日(土)10時から16時の間で20から25分程度。応募は自治会連合会HPの問い合わせ欄からお願いします。応募が多い場合は事前選考させていただくかも知れませんのでご了承下さい。

ベイタウンまつり全般の問い合わせは下記までお願いします。

主催;第12回ベイタウンまつり実行委員長 遠山 孝行 211-0020(携帯080-1026-9474)

事務局 小畑 幸保 211-0935(携帯090-5796-2130)